

ふ さ ぶんかん
布佐分館が30才になりました!

あびこしみんとしよかん
1987年7月1日我孫子市民図書館

ふ さ ぶんかん かいかん
布佐分館が開館しました。

それから今年でちょうど30年。

布佐分館と同じ年に生まれた

本たちをしょうかいします。

世界の人口が
50000000000人
(50億人)をこえました。

『ウォーリーをさがせ!』
発売、大人気になりました。
1987年って
こんな年



『こぎつねコンチ』
中川 李枝子/さく
山脇 百合子/え のら書店 (1-ナ)

あき秋、コンチはおかあさんから
おちばをはきあつめる
たけぼうきをかりました。
ほうきにまたがり、でまかせ
のじゅもんをとえたら…。
ふゆ冬にはゆきがっせん、
はる春にはいちごつみ、コンチは
まいにちおおいそがしです!

『シマリスの冬ごし作戦』
川道 美枝子/著
竹井 秀男/絵
文研出版 (489)



作者は北海道の森で7年間
シマリスと共にくらし、行動を
観察しました。小さなシマリス
は、きびしい冬を乗りきるために、いろんな工夫をし、
それが森全体のいのちの営みにつながっています。
イラストもとてもきれいでわかりやすい本です。



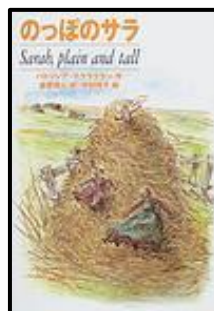
『パンやのくまさん』
『ゆうびんやのくまさん』
フィービ・ウォージントン、
セルビ・ウォージントン/さく・え
まさき りこ/やく
『せきたんやのくまさん』
フィービ・ウォージントン、
セルビ・ウォージントン/さく・え
いしい ももこ/やく
『うえきやのくまさん』
フィービ・ウォージントン、
ジョン・ウォージントン/さく・え
まさき りこ/やく
※4冊全て福音館書店 (BEAウ)

パンやのくまさんは、とてもはやおき。
かまどに火をいれて、きじをこね、きじがふくらむのを
まつ間に朝ごはん。はいたつやレジ打ちもやります。
くまさんのいちにちをこまやかにえがいたシリーズです。



『天の火をぬすんだウサギ』
ジョアンナ・トゥロトン/さく
山口 文生/やく
評論社 (EAF、MEAT)
天の人から火をぬすみ
とるため、どうぶつたちは
力を合わせます。
アメリカの昔話。

『のっぽのサラ』
パトリシア・マクラ克蘭/作
金原瑞人/訳 中村悦子/絵
徳間書店(2-マ)



のっぽでぶさいくのサラが
アンナとケイレブの家にやっ
てきた。サラ、新しいお母さん
になってくれる?

あびこしみんとしよかん
我孫子市民図書館
アビスタ本館 7184-1110
布佐分館 7189-1311
としよかん
図書館ホームページ <http://www.library.city.abiko.chiba.jp/>



まいたく
つっくさん
のほん
と
まよ
すに
ます
!

おはなしのトビラ 4

ひらけ!

10月27日(金)は文字活字
文化の日、またこの日から11月
9日(木)は、秋の読書週間です。
この秋ぜひ読んでほしいおすす
めの本をしょうかいします。

今回は「瀬田貞二さん」特集。
日本の昔話から外国のファンタ
ジーまで、たくさんのこどもの本
を残された方です。

えほん

絵も ことばも ゆっくりあじわって



『よあけ』
ユリ・シュルヴィッツ／作・画
瀬田 貞二／やく
福音館書店 (EAシ)

夜明け前。湖は暗く、しんとしずまりかえり、すべてのものが動きをとめている。やがて風がふき、さざなみが立つと鳥は鳴き、カエルが水にとびこむ音がする。湖のほとりでねむっていたおじいさんとまごは、したくをするとボートをこぎ出した。その時…山と湖がみどりに。よあけた。湖が明るい朝へと変わる。



『ひよこのかずはかぞえるな』
イングリ・ドーレア、
エドガー・パーリン・ドーレア／さく
せた ていじ／やく 福音館書店 (EAD)

「このたまごが、いったいいくらになるうかね?」
お婆さんのそつごうは、どんどんふくらんでいって…



『きょうはなんのひ?』
瀬田 貞二／作
林 明子／絵
福音館書店 (EAハ)

まみこがおかあさんに出したおてがみには、あるしかけがありました。まねしたくなっちゃうような、すてきなしかけです。

「やあ、ぼうず、こっちへこい。なんじゃな。いさましくしろよ」
「このたまごが、いったいいくらになるうかね?」
お婆さんのそつごうは、どんどんふくらんでいって…

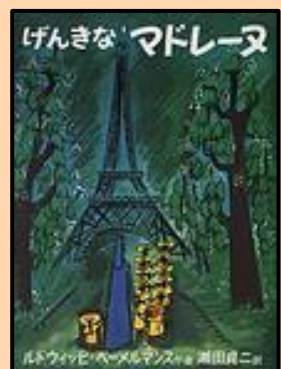


『チムとゆうかんせんちょうさん』
エドワード・アーディゾーニ／ぶん・え
せた ていじ／やく 福音館書店 (EAア)

「やあ、ぼうず、こっちへこい。なんじゃな。いさましくしろよ」



『ロバのシルベスターとまほうの小石』
ウィリアム・スタイグ／さく
せた ていじ／やく
評論社 (EAS)



『げんきなマドレーヌ』
ルドウィッヒ・ベームルマンズ／作・画
瀬田 貞二／訳
福音館書店 (EAベ)

パリの古いおやしきに12人の女の子がくらしていました。マドレーヌは一番おちびだけど、ねずみもトラもこわくない。ある真夜中、大声でなき出したマドレーヌは病院へはこばれます。みんながお見まいに行くと、病室にはおかしやおもちやがいっぱい。その夜、おやしきに、また大きな声がひびいて…。他にも「マドレーヌといぬ」「マドレーヌといたずらっこ」などのシリーズがあります。

ものがたり

きみをとおい世界へ
つれだす魔法のことばたち



『お父さんのラッパばなし』
瀬田 貞二／作 堀内 誠一／画
岩波書店 (1-セ)

ニューヨークでガラスふき、イギリスでサーカスに加わり、インドではわるいやつをこらしめる。お父さんのラッパ(ほら)は、世界をまたにかけてひろがるのでした。



『ホビットの冒険』
J.R.R.トルキン／作
瀬田 貞二／訳 岩波書店 (2-ト)

「われらは夜明け前に旅立たねばならぬ、忘れられたわれらの黄金を手に入れるため」

「にくむことは時間のむだよ。」とトチーはいいました。「願わなければいけないわ。わたしが願うの。わたしたちみんなで願わなければいけないわ。」

気のいいホビット小人のビルボは、魔法使いガンダルフ、13人のドワーフとともに竜から宝を取り戻す旅に出る。ファンタジーの代名詞ともいわれる大長編『指輪物語』につながる壮大なものがたり。

『人形の家』

ルーマー・ゴッデン／作
瀬田 貞二／訳
岩波書店 (2-ゴ)

幸せにくらしていた木の人形のトチー。しかし美しい人形マーチペーンに家をうばわれたうえ、さらに悲しい出来事がおこってしまい…



「にくむことは時間のむだよ。」とトチーはいいました。「願わなければいけないわ。わたしが願うの。わたしたちみんなで願わなければいけないわ。」

『三びきのやぎのらがらどん』
マーシャ・ブラウン／え
せた ていじ／やく
福音館書店 (EAフ、MEAフ)



「むかし、三びきのやぎがいました。なまえはどれもがらがらどんといいました。…」
くさをたべにいきたいのにトルルガとおせんぼ。ノルウエーのむかしばなし。

『日本のむかしばなし』
瀬田 貞二／文
瀬川 康男 梶山 俊夫／絵
のら書店 (1-ニ、M1-ニ)



『世界のむかしばなし』
瀬田 貞二／訳 太田 大八／絵
のら書店 (2-セ、M2-セ)



家にとめてもらいたいの、六人のおやじさまに「わしは、この家のおやじではない」と言われつづける『七人さまのおやじさま』(ノルウエー)や、畑の草をとるかわりに、さるのよめになったむすめが、ちえを使って家にもどる『さるむこいり』。ほかにゆかいなお話がいっぱい!

むかしばなし



『まのいりやし』
瀬田 貞二／再話
赤羽 末吉／画
福音館書店 (EAア、MEAア)

むすこの7つのおいよいよ、ごちそうをよういしようとして、あれよあれよというまにえものがまいこんできて…

『ねむりひめ』
グリム／原作
フエリクス・ホフマン／え
せた ていじ／やく
福音館書店 (EAホ、MEAホ)



むかしのこどもたちも
すきだった おはなし



やってみよう!
読書スタンプラリー

よむよむラリー



おもて



うひ

【期間】

10月27日(金)～
11月30日(木)

(移動図書館は
12月22日(金)まで)

- ・本を読んで、スタンプを集めよう! 本1冊でスタンプは1つ、図書館または小学校の図書室(※)でおしてもらえます。
- ・10冊でゴール! 図書館でカバーをつけて記念のしおりにします。
- ・1枚終わったら図書館でまた用紙をもらえます。期間内なら何枚でもOK。毎年あつめて読書の記録をつくろう!

※我孫子市内の図書館と小学校です。



せたていじ (瀬田貞二) さん (1916年～1979年)

えほん ものがたり ほんやく
絵本や物語の本を書くだけでなく、外国の本を日本語にする翻訳なども
げんたい しょうぶんがく えいぎょう のこ しょうかい
てがけ、現代の児童文学に大きな影響を残しています。今回紹介したのは
ほんの一部。まだまだたくさんあるので、ぜひ図書館でさがしてみてね。